

平成 21 年度 河川レンジャー年間活動計画（案）

平成 21 年 2 月

福島出張所管内河川レンジャー	菊井 睦夫
	辻川 松子
毛馬出張所管内河川レンジャー	原田 修一
	三輪 栄子
	山本 善稔

目 次

1. 福島出張所管内河川レンジャー 菊井 睦夫	1
1.1 活動テーマと活動分野	1
1.2 河川レンジャー自然観察会（河川環境ガイド養成講座）	2
1.3 河川敷フェスティバルで広報活動	5
1.4 地域への啓発活動	8
2. 福島出張所管内河川レンジャー 辻川 松子	9
2.1 活動テーマと活動分野	9
2.2 わがまち「防災スクール」	10
2.3 リバーウォッチャー「淀川探検隊」	12
2.4 よどがわ河川敷フェスティバル	14
2.5 ヨシ刈	16
2.6 地域連携事業	18
2.7 啓発活動	20
3. 毛馬管内河川レンジャー 原田 修一	21
3.1 活動テーマと活動分野	21
3.2 城北ワンド群での自然観察	22
3.3 淀川河川敷の葦刈り及び葦を用いた工作	25
3.4 十三干潟又は柴島干潟の自然観察	30
4. 毛馬出張所管内河川レンジャー 三輪 栄子	33
4.1 活動テーマと活動分野	33
4.2 まち歩き川沿い歩き	34
4.3 鳥講座と冬鳥観察会	37
4.4 救命講習会	40
5. 毛馬出張所管内河川レンジャー 山本 善稔	42
5.1 活動テーマと活動分野	42
5.2 淀川の水環境と適正な水使用	43

1. 福島出張所管内河川レンジャー 菊井 睦夫

1.1 活動テーマと活動分野

福島出張所管内を活動エリアとする菊井レンジャーは以下の活動テーマのもと、4つの活動を実施します。

活動テーマ

1. 干潟、葦原の自然観察と教育的活用。
2. 淀川河川敷フェスティバルでの広報、防災活動。
3. 次世代の河川の自然ガイドの養成。

平成 21 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川環境保全を図る活動	河川レンジャー自然観察会 (河川の自然ガイドの養成)
	河川近隣の小学校へ出張授業 (干潟観察 教室での講座)
活動地域への啓発活動	河川敷フェスティバルで広報活動
	河川敷での自然観察会および自然をテーマにした物語の読み聞かせ「子ツバメ チュクジ」など

1.2 河川レンジャー自然観察会（河川環境ガイド養成講座）

（１）活動目的

淀川下流域の大都会の中の自然の宝庫の素晴らしさをより多くの人々に啓蒙してゆきたい。さらに、海老江再生干潟や、宇治川・向島のツバメのねぐらなどもっと知って欲しい場所へ参加者を案内したいと考えています。

野鳥の会大阪支部、シニア自然大学その他野鳥観察グループとの交流なども検討中です。

学校関係は、要請があった時に対応していましたが、産経新聞の記事を活用したりして参加校を募集してまいります。子供野鳥カルタ、子ツバメチュクジ物語、淀川下流域160種の野鳥など自作のCDを教材とした室内での授業も好評でした。

淀川フォーラム実行委員会とも連動して、川のことや生き物のことを探求し、参加者の中から有志を募り、淀川下流域における生き物や野鳥のことを解説できる自然ガイドの養成も考えています。

平成21年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月	仮称 河川レンジャー自然観察会	リーフレットの作成 参加者へ配布
	5月	仮称 河川レンジャー自然観察会	
	6月	仮称 河川レンジャー自然観察会	
	7月	仮称 河川レンジャー自然観察会	リーフレットの作成 参加者へ配布
	8月	仮称 河川レンジャー自然観察会	上旬に向島地区のツバメのねぐら観察会
	9月	仮称 河川レンジャー自然観察会	
	10月	仮称 河川レンジャー自然観察会	リーフレットの作成 参加者へ配布
	11月	仮称 河川レンジャー自然観察会	
	12月	仮称 河川レンジャー自然観察会	
平成 22 年	1月	仮称 河川レンジャー自然観察会	リーフレットの作成 参加者へ配布
	2月	仮称 河川レンジャー自然観察会	
	3月	仮称 河川レンジャー自然観察会	

(2) 参加対象者・定員

小学生は親子で参加が条件で30名以内が望ましい。

(3) 実施内容

AM9:30 阪神・淀川駅改札で集合

- ・海老江再生干潟を観察
 - ・中津浜を經由して十三大橋を渡り、十三干潟を観察
- 小雨決行ですが状況により翌週に顺延

(4) 実施日

毎月第2日曜日 AM9:30 - PM1:00

宇治川・向島地区のツバメのねぐら観察 8月上旬 PM5:00 - PM7:30

(5) 実施場所

- ・海老江再生干潟
- ・大淀地区の汀(なぎさ)
- ・十三干潟



(6) 広報・募集方法

昨年度に引き続き「ザ・淀川」に協力をいただく予定。
淀川区役所とも連携を図り参加者をより増やしたい。
リバーマスタークラブ会員にも参加を促したい。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

淀川ネイチャークラブや菊井の知人などから人選する。
2～3人

(8) 必要支援内容

福島出張所にデータを送付して、リーフレットやアンケート用紙を作成していただけるよう折衝中
ジュニア河川レンジャーの認定書を作成していただけるよう折衝中。
リーフレット、アンケート用紙などの作成をご支援願っているが、現在までの活動をまとめた資料の展示などを考えています。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・講師・協力スタッフの手配、打合せ
- ・会場の手配
- ・資料作成
- ・広報活動
- ・当日の運営
- ・資料リーフレットおよびアンケートの配布と回収
- ・アンケート結果のまとめ
- ・リーフレットおよび観察記録の整理、発表。
- ・淀川下流域での野鳥、動植物の観察記録をまとめて期末に発表できればよいと考えています。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

回を重ねるごとに参加者の数が減少してきたことの反省から、子供も参加してより楽しい観察会にしてゆこうと考えています。
次世代の河川環境ガイドを養成できる下地になればより良いと考えています。

(11) 活動を行ううえでの課題等

まだまだ淀川河川レンジャーの存在が一般に認知されていない。
もっとマスコミなどへの働きかけが必要ではないでしょうか。

(12) その他

予備調査や前年度までのデータを分析し、動植物の実態調査をより充実させたく考えています。昆虫や植物の専門家、魚介類の専門家の方たちにも参加を促したい。

1.3 河川敷フェスティバルで広報活動

(1) 活動目的

今年で第8回となる淀川河川敷フェスティバルにおいては広報活動を行う予定で本年10月下旬に開催予定。当月までまだ期日があるので、しっかりと構成を練りたいと考えています。

平成21年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		関係機関との調整
	8月		関係機関との調整
	9月		関係機関との調整
	10月	淀川河川敷フェスティバル	リーフレットの作成、配布 展示パネル、VTR、電源などの 貸与
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

- (2) 参加対象者・定員
特に定員は設けないが昨年は3,300名の参加がありました。
- (3) 実施内容
9月に計画をまとめるつもり
淀川フォーラム実行委員会で決定する。
- (4) 実施日
平成21年10月の日曜日 PM0:00 - PM:4:00 雨天順延
- (5) 実施場所
淀川河川敷



- (6) 広報・募集方法
7～9月中に調整の上決定
本年度は淀川開削百周年なので記念の行事ができないか検討中
- (7) 協スタッフ等の人数とその役割
7～9月中に調整の上決定
- (8) 必要支援内容
7～9月中に調整の上決定
最低限 昨年度と同程度のご支援をお願いいたします。
- (9) 活動における河川レンジャーの活動内容
展示パネルの作成、借用依頼
当日の運営
その他7～9月に調整の上決定
- (10) 昨年度の活動を踏まえての改善点
ツバメのお話、野鳥のお話をより分かりやすく解説したい。
- (11) 活動を行ううえでの課題等

去年同様でよいと思います。

(12) その他

1.4 地域への啓発活動

(1) 活動目的

自然の大切さを地域へ広く伝えたい。

平成 20 年度は淀川下流域の野鳥 160 種の編集、展示や十三干潟の紙芝居を上演しました。平成 21 年度はより発展させた資料を編集して、参加者に喜んでいただければと考えています。

参加していただきありがとうございました

アンケート用紙

月 日

<河川レンジャー観察会>

1. この観察会を知ったのは？

- a. 区役所のチラシ b. 「ザ・淀川」 c. 知人から
d. 以前から知っていた e. その他 f. 河川レンジャーニュース

2. 参加していかがでしたか？

- a. この場所の自然についてもっと知りたくなった b. 思っていたとおりだった
c. 楽しく自然に触れることができた d. もっと楽しくして欲しい

3. また、参加していただけますか？

- a. 連絡先を書いておくので連絡して欲しい

電話、携帯（番号） - -

ご住所 〒

お名前

- b. スケジュール表でわかっていいるので連絡なしでも参加する

- c. もう参加したくない

4. お気づきの点やご希望があればお書きください

2. 福島出張所管内河川レンジャー 辻川 松子

2.1 活動テーマと活動分野

福島出張所管内を活動エリアとする辻川レンジャーは以下の活動テーマのもと、6つの活動を実施します。

活動テーマ

豊かな自然環境を守り 災害に強いまちを目指し 川と人 人と人を繋げます！！

平成 21 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
防災に強いまちづくりの推進を図る活動	わがまち「防災スクール」
防災と環境保全の推進を図る活動	第8回よどがわ河川敷フェスティバル = 川に寄り添い生きる淀川区を目指して =
河川の適正な利用の推進	リバーウォッチャー「淀川探検隊」
河川の環境保全を図る活動	その他の活動 = ヨシ刈り = = 地域連携事業 =
啓発活動	河川レンジャー活動に関するニュース等の情報発信

2.2 わがまち「防災スクール」

(1) 活動目的

淀川区内の中学校を対象として、水防工法の体験学習や災害に対する危機意識の啓発と、水防活動に最低限必要な水防工法の知識や技術等の習得に繋がります。

次の時代を担う「防災リーダー」の育成を目的として、キャリア教育に繋がります。
更に、自らのまち「わがまち」の防災を考えるきっかけづくりと、「地域防災リーダー」との世代間交流を図る活動に繋がります。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		実施事業計画及び事業の提案 学校訪問及び啓発
	5月		実施事業計画と事業の提案 啓発活動 資料づくり
	6月		事業内容の調整
	7月		事業計画 啓発活動
	8月		事業内容の調整
	9月		事業内容の調整
	10月		事業内容の調整・広報活動
	11月	わがまち「防災スクール」P・1	事業内容の調整・講師の依頼
	12月	わがまち「防災スクール」P・2	事業内容の調整
平成 22 年	1月	わがまち「防災スクール」P・3	事業内容の調整
	2月	わがまち「防災スクール」P・1	事業内容の調整・講師の依頼
	3月	わがまち「防災スクール」P・2	事業内容の調整

- (2) 参加対象者・定員
 ・参加対象者：淀川区内中学生
 ・定員：設定なし
- (3) 実施内容
 ・映像からみる災害のメカニズム
 ・災害時における「自助・協助・公助」
 ・「水防工法」「救難・救助」の体験学習
- (4) 実施日
 A 中学校
 第1回 11月 メカニズム
 第2回 12月 図上訓練
 第3回 1月 体験学習
 B 中学校
 第1回 2月 メカニズム
 第2回 3月 体験学習
- (5) 実施場所
 学校及び河川敷
- (6) 広報・募集方法
 学校訪問を行う
- (7) 協力スタッフ等の人数と役割
 協力スタッフ：防災リーダー・はぐくみネット・わがまち委員等の地域ボランティア
 講師：防災に関する技術指導と災害に係わる講演
- (8) 必要支援内容
 水防工法に係わる材料・機材・設営に係わる物品の借用
 講師の依頼
- (9) 活動における河川レンジャーの活動内容
 ・実施校の決定
 ・実施計画の立案
 ・講師の依頼・協力スタッフの手配・打ち合わせ
 ・関係機関との調整
 ・資料の作成・パワーポイントの作成・アンケートの作成
 ・広報活動
 ・現地調査と当日の運営
 ・アンケートの集約・まとめ
- (10) 昨年度の活動を踏まえての改善点
 平成19年度事業では、クラブ活動者を対象にして「水防工法」の1回の実施
 平成20年度では、3回の実施になり学習内容に幅が出来たものの、プログラムに改善が必要と感じています。
 但し、連合町会を始めとして「地域防災リーダー」や危機管理室を巻き込めたことは大きな収穫であると思っております。
 平成21年度においては、さらにプログラムを見直し、充実した事業を進めていきたいと考えています。
- (11) 活動を行ううえでの課題など
 当、河川レンジャーの研鑽をつむことのみです。

2.3 リバーウォッチャー「淀川探検隊」

(1) 活動目的

「自分の住むまちの自然にふれて・見て・知る」

淀川区内の小学校を対象に 河川敷を活動フィールドとして 自然環境や河川利用に係わる啓発をおこないます。

活動を通じて自分が住むまちに豊かな自然が身近にあることを伝え 自然の素晴らしさとそれらを守る心を育み こどもたちが郷土を愛せる人に育つことを目的とします。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		実施事業計画及び事業の提案 学校訪問及び啓発
	5月		実施事業計画と事業の提案 啓発活動 資料づくり
	6月		事業内容の調整
	7月		事業計画 啓発活動
	8月		事業内容の調整
	9月		事業内容の調整
	10月		事業内容の調整
	11月		事業内容の調整
	12月		事業内容の調整
平成 22 年	1月	リバーウォッチャー 「淀川探検隊」	事業内容の調整
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

- ・参加対象者：淀川区小学生 4 年生
- ・定員：設定なし

(3) 実施内容

淀川の自然環境保全を伝えます。

淀川に生殖する生物や淀川の様子を観察します。

水質について考えます。

- (4) 実施日
1月
- (5) 実施場所
淀川河川敷
- (6) 広報・募集方法
学校訪問
- (7) 協力スタッフ
協力スタッフ：児童生徒の安全確保（行路・帰路の引率）
はぐくみネット「こども見守り隊」
- (8) 必要支援内容
水質調査に係わる試薬の提供
資料の提供
- (9) 活動における河川レンジャーの活動内容
- ・実施校の決定
 - ・実施計画
 - ・関係機関と調整
 - ・講師・協力スタッフの手配
 - ・資料の作成
 - ・雨の場合の準備（パワーポイントの作成）
 - ・広報活動
 - ・実施場所の確認 学校から実施場所までの時間の確認
 - ・当日の運営
 - ・アンケートの作成と回収・まとめ・報告
- (10) 昨年度の活動を踏まえての改善点
水質調査の実施方法について検討する必要があると考えます。
- (11) 活動を行ううえでの課題など
実施時期が冬季であるために、子どもの体調が気になります。学校と調整するものの難しく大きな課題であると考えています。

2.4 よどがわ河川敷フェスティバル

(1) 活動目的

淀川フォーラム実行委員会主催の第8回よどがわ河川敷フェスティバルで、河川レンジャーコーナーを設け活動の啓発に務めます。

平成21年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		実施事業計画及び事業の提案
	5月		実施事業計画と事業の提案
	6月		事業内容の調整
	7月		事業計画 啓発活動
	8月		事業内容の調整
	9月		事業内容の調整
	10月	第8回よどがわ 河川敷フェスティバル	事業内容の調整
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

- ・参加対象者：河川に集まる全ての人
- ・定員：設定なし

(3) 実施内容

- * 防災の啓発・・・水中歩行・水没ドアの体験
- * ヨシ工作（西中島ヨシ原より刈り取りしたもの）
- * シジミ工作（十三干潟より採取）
- * 自然環境に係わる紙芝居の上演。

(4) 実施日 10月第3日曜日（未定）

(5) 実施場所 淀川河川敷

- (6) 広報・募集方法
区民だより等の広報紙及び地域情報誌
- (7) 協力スタッフ
わがまちビジョン推進委員・生涯学習推進委員など約 15 名
- (8) 必要支援内容
施設設置に係わる物品・機材・人員の確保
- (9) 活動における河川レンジャーの活動内容
- ・実施計画と他事業との調整
 - ・施設設置の立会（前日）
 - ・広報活動
 - ・スタッフの手配と事前指導
 - ・当日の運営
 - ・アンケートの作成・回収・集約・まとめ・報告
- (1 0) 昨年度の活動を踏まえての改善点
ヨシ工作（タペストリー） しじみ工作（根図け）については思いのほか好評でありました。引き続き次年度に引き継ぎたいと思っています。
- 「水没ドア・水中歩行」体験について
スタッフの事前学習を充実させることが必要と考えます。
- (1 1) 活動を行ううえでの課題等
2年連続で事業実施を振り返ったとき、忘れがちな水害を体験出来る場として大変必要な施設であると実感しています。
今後も是非、続けていきたいと考えております。

2.5 ヨシ刈

(1) 活動目的

淀川区におけるわがまち推進会議やよどがわマスタークラブ等の活動団体さらに他地域のレンジャーとの連携を図り、巾の拾い活動の推進に務めます。

自然環境保護の目的を達成する為に、水質を悪くする物質所栄養分として吸収し、水の浄化作用の役目を果たすヨシを2月に刈ることで春5月には新しい新芽が生れ成育の循環が行われ水質の向上につながります。さらに、ヨシを使いよどがわ河川敷フェスティバルにおいて、もの作り等に利用して自然環境の保護を伝えます。

平成21年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		実施事業計画及び事業の提案
	5月		実施事業計画と事業の提案
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		事業内容の調整
	11月		事業内容の調整
	12月		事業内容の調整
平成 22 年	1月		事業内容の調整
	2月	ヨシ刈り	事業内容の調整
	3月		

(2) 参加対象者・定員

- ・参加対象者：環境保全に関心のある人
- ・定員：設定なし

(3) 実施内容

西中島地域ヨシ原をフィールドとして刈り取りを行い、環境保全の推進に努めます。

(4) 実施日

2月 第2日曜日(未定)

(5) 実施場所
西中島地区ヨシ原



(6) 広報・募集方法
啓発チラシ及び地域情報誌など

(7) 協力スタッフ
リバーマスター倶楽部会員など

(8) 必要支援内容
活動場所の認可手続き

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 実施計画の立案
- ・ 関係機関と調整
- ・ 広報活動
- ・ 機材の借用 (連絡調整及び日程の調整)
- ・ 当日の運営
- ・ 雨天のための対策 (連絡方法)

(10) 昨年度の活動をふまえての改善点

- ・ 必要以上に採取しないこと
- ・ ヨシ刈りの意義をしっかりと伝えていくこと

(11) 活動を行ううえでの課題等
特にありません

2.6 地域連携事業

(1) 活動目的

区役所が実施する学習会と協働する。川と人、人と人を繋げる自然環境・防災＆災害に関わる川の話や河川レンジャーの活動及び事業運営のサポーターを務める。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		実施事業計画及び事業の提案 学校訪問及び啓発
	5月		実施事業計画と事業の提案 啓発活動 資料づくり
	6月		事業内容の調整
	7月		事業計画 啓発活動
	8月	地域連携事業	事業内容の調整
	9月	地域連携事業	事業内容の調整
	10月		事業内容の調整・広報活動
	11月		事業内容の調整・講師の依頼
	12月		事業内容の調整
平成 22 年	1月		事業内容の調整
	2月	地域連携事業	事業内容の調整・講師の依頼
	3月		事業内容の調整

(2) 参加対象者・定員

- ・参加対象者：淀川区民
- ・定員：概ね 40 名

(3) 実施内容

淀川の自然を体感する学習会

(4) 実施日

8月及び9月

(5) 実施場所

淀川河川敷及び淀川区役所



- (6) 広報・募集方法
淀川区広報紙・チラシ・地域機関紙
- (7) 協力スタッフ
リバーマスター倶楽部会員・生涯学習推進員など
- (8) 必要支援内容
特にありません
- (9) 活動における河川レンジャーの活動内容
主催者との企画調整
当日の運営に係わるサポーター
- (10) 昨年度の活動を踏まえての改善点
昨年と同様に協働事業として推進していきたいと考えております。
- (11) 活動を行ううえでの課題等
特にありません

2.7 啓発活動

(1) 活動目的

川と人、人と人を結ぶコーディネーターとして、河川レンジャーの活動案内や結果報告をはじめとした情報を継続的に発信し、地域住民から意見や情報を聴取する。

- ・地域情報紙への事業内容等の情報提供
- ・住民に対し事業実施及び事業推進の情報の提供。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月	啓発活動	
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	平成 22 年		1月
2月			
3月			

3. 毛馬管内河川レンジャー 原田 修一

3.1 活動テーマと活動分野

毛馬出張所管内を活動エリアとする原田レンジャーは以下の活動テーマのもと、3つの活動を実施します。

活動テーマ

淀川環境を知り、その保全を考える

平成 21 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川環境保全を図る活動	城北ワンド群での自然観察
	淀川河川敷の葦刈り及び葦を用いた工作
	十三干潟又は柴島干潟の自然観察

3.2 城北ワンド群での自然観察

(1) 活動目的

「城北ワンド周辺での自然観察」は淀川流域にあるいくつかのワンドのうち、もっとも代表的な城北ワンド群（大阪市旭区）において自然観察を行なう活動です。

城北ワンドには、淀川固有の生き物を含めたくさんの魚や生き物のすみかとなっていますが、河川環境の変化や外来魚の影響で生態圏に変化が起きていると言われていています。

私は河川レンジャー活動開始前より定期的に、城北ワンドにて淀川固有の生き物観察と外来魚、外来生物の観察を行う活動を地域の子供たちと観察をしてきましたので、本年も見識者の方や他の河川保護活動団体と連携をとりながら、参加者に城北ワンドの自然環境を紹介していく事を目的としました。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の立案 ・広報準備 ・広報活動 ・協力スタッフの手配 ・講師依頼 ・広報活動 ・資料作成
	5月	外来魚の捕獲	<ul style="list-style-type: none"> ・講師、協力スタッフとの打合せ
	6月		
	7月	自然観察会	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の立案 ・広報準備 ・広報活動 ・協力スタッフの手配 ・講師依頼 ・広報活動 ・資料作成 ・講師、協力スタッフとの打合せ
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

対象：小学生以上

定員：50名程度

理由：小学生が中心である為安全監視要員数(10名)及び一般の方が釣り等の活動を行っており、トラブルを避ける為50名程度としました。

(3) 実施内容

開催日時：年間スケジュール参照

集合場所：城北菅原大橋下淀川河川敷

参加人数：定員50名

スケジュール：09：30・・・現地集合

09：30・・・主催者の挨拶

09：35・・・講師の先生からお話

09：50・・・グループに別れ活動開始

12：00・・・活動について結果と講師の方の講評

12：15・・・主催者の総括後解散

(4) 実施日

開催日時：年間スケジュール参照

(5) 実施場所

大阪市旭区淀川河川敷城北wand群



(6) 広報・募集方法

開催1ヶ月前から都島区、城東区、東淀川区小学校、にて参加者募集
河川レンジャーホームページにて案内

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：東都島エコクラブ：10名（会場までの誘導及び安全確保）
講師：河合典彦氏(予定)（淀川・城北ワンドの自然に関する講演、実演）
小川力也氏(予定)（淀川・城北ワンドの自然に関する講演、実演）
内藤 肇氏(予定)（淀川の魚に関する講義、解剖）
高田昌彦氏(予定)（琵琶湖、淀川の外来魚に関する講演）

(8) 必要支援内容

河川敷への車両通行許可手続き
淀川（城北ワンド）啓発パンフレット準備

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・集合場所までの参加者の誘導
- ・見識者の方の伝達補助
- ・参加者の安全確保
- ・活動記念の撮影
- ・当日の進行
- ・物資運搬
- ・毛馬出張所との打ち合わせ
- ・雨天時の中止連絡方法の確認

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・特に問題はなかったが本年も協力機関等と綿密に打ち合わせを行い安全に開催したい。
- ・外来魚、生物観察以外にワンドにいる二枚貝観察も行ないます。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・水辺での活動であるので安全には細心の注意を払う必要がある。
- ・城北ワンド周辺は色々な活動拠点となっているので、トラブルが起こらない様注意したい。
- ・一般参加者に城北ワンドのすばらしさを知っていただき、継続的に参加していただける様な活動にするため少しずつ内容を豊富にしていきたい。

(12) その他

- ・淀川河川敷での活動ですので事務局のご協力をお願いします。

3.3 淀川河川敷の葦刈り及び葦を用いた工作

(1) 活動目的

淀川河川敷に生育する葦は水質浄化の作用がある事が知られています。しかしその能力を最大限に発揮させる為には、かれた葦を刈りよらなければなりません。

そこで淀川河川敷の葦の生育地にて葦狩りを行い、次世代の葦の生育状況を確認し水質保全の意識を高める活動です。

又刈った葦を用いたコースター等の工作は、子供たちが興味をもち継続的に参加してくれることを目的とする活動で、継続的に同様の活動を行なっています。

昨年より山崎出張所管内の谷岡レンジャーと共催しており、活動の幅が広がりました。

又刈り取った葦を用い昨年同様都島区の生涯学習発表会で葦工作の紹介を行い、都島区の方に淀川の環境についての資料を配布する活動も行います。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月	鵜殿での葦刈り	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の立案 ・広報準備 ・広報活動 ・協力スタッフの手配 ・講師依頼 ・広報活動 ・資料作成 ・講師、協力スタッフとの打合せ
	2月	東都島小学校での工作 都島区生涯学習発表会(都島区民 センター)での活動	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の立案 ・広報準備 ・広報活動 ・協力スタッフの手配 ・講師依頼 ・広報活動 ・資料作成 ・講師、協力スタッフとの打合せ
	3月		

(2) 参加対象者・定員

対象：小学生以上

定員：葦刈り・・・30名程度

東都島小での工作・・・関係者のみ

都島区生涯学習発表会での活動・・・50名程度

理由：葦刈り・・・道具、移動手段の関係

東都島小での工作・・・学校を使用する為学外者の入校が難しい為

都島区生涯学習発表会での活動・・・工作材料の調達量の関係

(3) 実施内容

葦刈り

参加人数：定員30人

スケジュール：09:50・・・淀川河川事務所山崎出張所集合

10:00・・・主催者の挨拶

10:05・・・講師の先生から葦についてのお話

10:15・・・ヨシハラ観察後葦刈り開始

12:00・・・昼食

13:00・・・葦刈りの続きと工作材料の選択及び運搬の準備解散

14:45・・・主催者、講師よりの挨拶

15:00・・・淀川河川事務所山崎出張所出発

スタッフ打ち合わせ：平成21年1月上旬 東都島小学校多目的室

東都島小での工作

参加人数：関係者のみ

10:00～12:00・・・東都島小

スタッフ打ち合わせ：2月下旬

都島区生涯学習発表会での活動

参加人数：定員50名

スケジュール：10:00・・・都島区民センターに集合

10:05・・・主催者挨拶

10:10・・・工作開始

14:00・・・主催者の終わりの挨拶

スタッフ打ち合わせ：2月下旬

(4) 実施日

葦刈り

開催日時：平成21年1月中旬

東都島小での工作

開催日時：平成21年3月上旬

都島区生涯学習発表会での活動

開催日時：平成21年3月上旬

(5) 実施場所

葦刈り：高槻鶴殿ヨシ原（淀川河川事務所山崎出張所周辺）



東都島小での工作：東都島小学校



生涯学習活動発表会での活動：都島区区民センター



(6) 広報・募集方法

開催1ヶ月前から都島区小学校に参加者募集
河川レンジャーホームページにて案内
都島区広報誌で参加募集

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：東都島エコクラブ：10名
(会場までの誘導及び葦狩り、工作时における安全確保)
講師：小山弘道氏(予定)(高槻鶴殿の自然に関する講演、葦狩り実演)
大倉昌之氏(予定)(葦工作の実演、指導)
共催：山崎出張所管内河川レンジャー 谷岡寿和子氏

(8)

必要支援内容

葦刈り：淀川河川事務所山崎出張所への連絡・調整、河川レンジャーのぼり
東都島小での工作：特に無し
都島区生涯学習発表会での活動：河川レンジャーのぼり、淀川環境についてのPR
資料準備、袋等

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

葦刈り 東都島小での工作 都島区生涯学習発表会での活動：

- ・ 集合場所までの参加者の誘導
- ・ のぼりの設置
- ・ 見識者の方の補助
- ・ 参加者の安全確保
- ・ 活動記念の撮影
- ・ 当日の進行
- ・ 物資運搬
- ・ 雨天時の中止連絡方法の確認

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ 鶴殿では葦刈り以外に子供たちが楽しめる行事(凧揚げ等)を講師の方と相談して設定したい。
- ・ 鎌等の刃物及び葦のとげ等怪我の対策を考えてたい。
- ・ 葦刈り中心の活動を行ないたい。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・ 河川敷での冬の活動であるので寒さの対策も必要だと思われる。
- ・ 釜を使用するため安全に使用する為の指導が大切である。

(12) その他

- ・ 昨年度は参加者の移動に自家用車を使用し、山崎出張所の駐車場を利用させていただきました。
本年度もご協力をお願いします。

3.4 十三干潟又は柴島干潟の自然観察

(1) 活動目的

十三干潟、柴島干潟は大阪市内の淀川右岸にあり、クロベンケイガ二等のカニやヤマトシジミ等の貝などの干潟を代表する小さな生き物がたくさん生活しています。また潮の満ち引きを川に入りながら実際に体験することができます。

そこで見識者の方や他の河川保護活動団体と連携を進め十三干潟又は柴島干潟の観察を行い、淀川のすばらしさと大切さを紹介していく事を目的としています。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月	十三干潟又は柴島干潟の自然観察	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の立案 ・広報準備 ・広報活動 ・協力スタッフの手配 ・講師依頼 ・広報活動 ・資料作成 ・講師、協力スタッフとの打合せ
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

対象：小学生以上

定員：50名程度

理由：小学生が中心である為安全監視要員数(10名)及び干潟の面積

(3) 実施内容

集合場所：実施場所

参加人数：定員50名

スケジュール(各活動共通)：09：50・・・現地集合

10：00・・・主催者の挨拶

10：05・・・講師の先生からお話

10：15・・・グループに別れ活動開始

12：00・・・活動について結果と講師の方の講評

12：15・・・主催者の総括後解散

(4) 実施日

開催日時：平成21年9月中旬

(5) 実施場所

淀川河川敷十三干潟又は柴島干潟



(6) 広報・募集方法

開催1ヶ月前から都島区、城東区、東淀川区小学校、にて参加者募集
河川レンジャーホームページにて案内

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：東都島エコクラブ：10名(会場までの誘導及び安全確保)

講師：河合典彦氏(予定)(干潟の生き物に関する講演、実演)

小川力也氏(予定)(干潟の生き物に関する講演、実演)

(8) 必要支援内容

河川敷への車両通行許可手続き
淀川（城北ワンド）啓発パンフレット準備

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 集合場所までの参加者の誘導
- ・ 見識者の方の伝達補助
- ・ 参加者の安全確保
- ・ 活動記念の撮影
- ・ 当日の進行
- ・ 物資運搬
- ・ 毛馬出張所との打ち合わせ
- ・ 雨天時の中止連絡方法の確認

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ 昨年までは6月に実施しておりましたが、ここ数年この時期に二枚貝の貝毒汚染が発生した為時期を変更しました。又参加人数の増により十三干潟が手狭になってきましたので柴島干潟も候補に入れました。
- ・ 干潟には空き缶や危険なゴミが放置されている可能性が高いので、けがの内容に用心したい。
- ・ 活動後の足洗、手洗いが迅速に行なえるよう工夫したい。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・ 活動の性格上限られた日時での活動になる為事前の準備をしっかりと行ないたい。

(12) その他

- ・ 本活動は参加者が一番多い活動です。
これをきっかけとして他の活動にも参加してもらえるようにしたいです。

4. 毛馬出張所管内河川レンジャー 三輪 栄子

4.1 活動テーマと活動分野

毛馬出張所管内を活動エリアとする三輪レンジャーは以下の活動テーマのもと、3つの活動を実施します。

活動テーマ

川とそこで生息する生き物に関心を向けることから私たちの暮らしと環境を考える。

平成 21 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
川の歴史文化の普及啓発活動	地理的・歴史的考察から川を観るまち歩きと見学会 1．まち歩きから川と飲み水について考える。 2．河川の歴史と災害について
河川的环境保全を図る活動	鳥講座 冬鳥観察会
地域啓発	救命講習会

4.2 まち歩き川沿い歩き

(1) 活動目的

「地形や歴史、文化を学びながら、町の暮らしと河川の関わりを考えるための企画。」
住んでいる町を歴史的、地理的観点から見つめ、ゆっくり川を眺めながら、楽しいお川沿い散歩をとおし見えてくる問題を考えます。今回は、「飲み水今と昔」「川の歴史と災害」を考えます。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		計画立案・広報準備
	5月		下見、講師スタッフとの打合せ
	6月	まち歩き川沿い歩き見学会 1	資料準備
	7月		計画立案 広報準備 ・施設協力依頼
	8月		下見、講師スタッフとの打合せ
	9月	まち歩き川沿い歩き見学会 2	資料準備
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

地域住民を中心に、関心のある方でしたら、どなたでも、年齢制限なし、
定員 毎回 約20名ぐらい

(3) 実施内容

まち歩き 1

源八橋から毛馬、長柄、お話を聞きながら、川沿いを歩き水道記念館まで。
水道記念館施設見学、飲み水に関する学習会。

まち歩き 2

天神橋 6 丁目からまち歩き、史跡めぐり。毛馬閘門見学会。

(4) 実施日

講師スタッフと検討中。

(5) 実施場所

1 まち歩き

源八橋から水道記念館を含むエリアの地図



2 まち歩き

天神橋筋 6 丁目から毛馬閘門を含む 北区の北東部の地図



(6) 広報・募集方法

検討中。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

生涯学習推進委員
歴史散歩メンバー

- (8) 必要支援内容
施設見学時の解説案内
広報
- (9) 活動における河川レンジャーの活動内容
- ・実施計画立案
 - ・まち歩き講師補佐
 - ・スタッフ打合せ
 - ・講師依頼
- (10) 昨年度の活動を踏まえての改善点
初年度のため、なし。
- (11) 活動を行ううえでの課題等
特になし。
- (12) その他
特になし。

4.3 鳥講座と冬鳥観察会

(1) 活動目的

「人にとって便利な環境と 自然に暮らす生き物にとっての住みよい環境について考える企画。」
 鳥講座...鳥の生態、羽の仕組みなどの学習会。はじめてのひとにも観察会を楽しめるよう、基礎知識の習得。実物を見ながら専門家のおはなしをきくことで、環境への関心を高めたい。
 観察会...野鳥を身近に感じることで、川の環境の目を向ける。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		計画立案・広報準備
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		講師依頼 会場手配
	11月		資料作成 講師打合せ
	12月	野鳥講座	スタッフ打合せ
平成 22 年	1月	冬鳥観察会	資料作成スタッフ打合せ
	2月	冬鳥観察会	資料作成スタッフ打合せ
	3月		まとめ

(2) 参加対象者・定員

地域住民を中心に、関心のある方でしたら、どなたでも、年齢制限なし。

観察会...約20名ぐらい。

鳥講座...会場により、増員可。

(3) 実施内容

鳥講座 初心者向け講座依頼中。

冬鳥観察会 1...長柄から海老江

冬鳥観察会 2...矢倉海岸

(4) 実施日

講師スタッフと検討中。

(5) 実施場所

鳥講座 毛馬から赤川



冬鳥観察会 1 毛馬から海老江



冬鳥観察会2 矢倉海岸



(6) 広報・募集方法
検討中。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割
生涯学習推進委員
野鳥の会メンバー
ウェットランドレンジャー

(8) 必要支援内容
鳥講座の会場
広報

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容
・実施計画立案
・スタッフ打合せ
・講師依頼 交渉中。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点
初年度のため、なし。

(11) 活動を行ううえでの課題等
特になし。

(12) その他
特になし。

(8)

4.4 救命講習会

(1) 活動目的

北区のイベントもしくは、防災行事に共催、地域行事にかかわる人を対象に講習会（一般も可）を行う。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		計画立案・広報準備
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		資料作成スタッフ打合せ
	3月	救命講習会	まとめ

- (2) 参加対象者・定員
地域住民を中心に、関心のある方でしたら、どなたでも、年齢制限なし。
定員 毎回 約20名ぐらい。
- (3) 実施内容
検討中。
- (4) 実施日
講師スタッフと検討中。
- (5) 実施場所
区役所または小学校。
- (6) 広報・募集方法
検討中。
- (7) 協力スタッフ等の人数とその役割
生涯学習推進委員
歴史散歩メンバー
野鳥の会メンバー
ウェットランドレンジャー
- (8) 必要支援内容
広報
- (9) 活動における河川レンジャーの活動内容
・実施計画立案
・スタッフ打合せ
・講師依頼
- (10) 昨年度の活動を踏まえての改善点
初年度のため、なし。
- (11) 活動を行ううえでの課題等
特になし。
- (12) その他
特になし。

5. 毛馬出張所管内河川レンジャー 山本 善稔

5.1 活動テーマと活動分野

毛馬出張所管内を活動エリアとする山本レンジャーは以下の活動テーマのもと、6つの活動を実施します。

活動テーマ

淀川の水質と浄水場の処理方法を知り適正な水使用から、淀川の水環境を考える

平成 21 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川的环境保全を図る活動 節水意識の普及・啓発活動	淀川水質学習会（1回実施）[淀川の水質の変遷]
	水処理学習会（3回実施）[浄水処理法の変遷]
	水使用学習会（2回実施）[適切な水道の使用]

5.2 淀川の水環境と適正な水使用

(1) 活動目的

淀川の水質と浄水処理からみた水道使用のあり方についての啓発活動

最近の淀川の水質は以前に比べかなり良くなり、昔の水質に戻りつつあり、魚類への水質の影響は少なくなっているが、新たな別の問題として外来種の魚の増加に悩まされている。

水道の浄化も高度浄水処理になり、良質の水道水になっているが、使用量は減少している。これは水の合理的な使用が進んできたことにもよる。

水は限りある資源であり、過去に起きた渇水時の淀川をみると、水道水源の確保はもとより、魚類や河川環境への影響は計り知れなく、日ごろから適正な水使用を生活の知恵として定着させなければならない。

このような背景から淀川の水質と水道の使用状況を通して淀川の水と河川の環境問題、日ごろの水使用のあり方を考え、淀川がもっと身近なものとなるよう住民の方々と一緒に勉強し淀川を啓発して行きたい。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		・実施計画の立案 ・広報の準備 ・会場の手配
	5月		・広報活動 ・説明資料の作成
	6月		・広報活動 ・講師、協力スタッフの手配
	7月	淀川水質の学習会	・アンケートの準備
	8月	浄水処理の学習会	
	9月	柴島浄水場取水口の学習会	・パックテスト
	10月	柴島浄水場及び魚類の学習会	
	11月	水道使用の学習会	
	12月		・アンケートの集計とまとめ
平成 22 年	1月	水道使用の学習会	
	2月	学習会の補足と意見交換	
	3月		・活動のまとめ

(2) 参加対象者・定員

参加対象者 : 運営会議対象区域内の流域住民
(大阪市内の住民であれば誰でも受け入れる。)
定員 : 50人/回

(3) 実施内容

淀川水質に関する講演 (講師 大阪市水質試験所に依頼)
浄水処理に関する講演 (講師 大阪市柴島浄水場に依頼)
魚類に関する講演 (講師 水道記念館に依頼)
水道使用に関する講演 (講師 大阪市水道局に依頼)

<当日のプログラム>

9:30 集合
10:00 河川レンジャーの挨拶
・活動の趣旨説明 講師の紹介
10:10 講演
11:10 質疑応答
11:30 アンケート
11:40 解散

(4) 実施日

いずれの日も第2金曜日の午前中を予定

- ・平成21年 7月10日(金)
- ・ " 8月 7日(金)
- ・ " 9月11日(金)
- ・ " 10月 9日(金)
- ・ " 11月13日(金)
- ・平成22年 2月12日(金)

(5) 実施場所

- ・平成21年 7月 柴島浄水場
- ・ " 8月 "
- ・ " 9月 柴島浄水場取水塔
- ・ " 10月 水道記念館
- ・ " 11月 "
- ・平成22年 2月 "



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内河川レンジャーホームページ
- ・水道記念館に広報チラシ
- ・淀川資料館に広報チラシ

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・協力スタッフ
NPO 淀川・水研究会：3名
講師 未定(依頼中)

(8) 必要支援内容

- ・チラシ・アンケート・説明資料の印刷
- ・パケットテスト(簡易水質測定)の試薬の提供
- ・河川レンジャーのぼりの借用
- ・会場(器材とも)使用料

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案
- 講師 協力スタッフの手配と打ち合わせ
- 会場の手配
- 説明資料の作成
- 広報準備と活動
- 当日の運営

アンケートの作成とアンケート結果のまとめ
活動のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点
(初年度につきなし)

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

他のエリアで活動している河川レンジャーと連携してこの活動を淀川管内全域で行っていき
たい。

水道と水使用について（アンケート）（案）

(1) 淀川の水質をどう思いますか

きれい

汚い

(2) 最近の淀川で気になっていることを2つあげてください

(3) どこかの浄水場を見学したことがありますか

ある(

浄水場)

ない

(4) 浄水場について質問したいことを2つあげてください

(5) 水道記念館を見学したことがありますか

ある

ない

(6) 水道記念館について質問したいことを2つあげてください

(7) 水使用について

ア 意識的に節水をしていますか

している

していない

イ どんな方法で節水していますか

水の量を絞っている

水の使用時間を短かくしている

その他(

)

ウ 節水用の給水器具があることを知っていますか

知っている

知らない

エ 自宅の1ヶ月あたりの水道使用量又は水道料金を知っていますか

知っている(使用量 料金)

知らない

オ 水道メータはどんなときに見ますか

漏水したとき

定期的に使用水量を見るとき

その他(

)

見たことはない

